

「 さ さ え 」

2021年10月発行 情報誌 第77号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyounet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyogu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 ヨシミ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネット主な事業は、研修事業とものづくり支援

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HP参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サイネージ



除菌装置



揺動ベッド



(有) ラック発売中

洗髪シャワー

NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中

NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度・3年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託!



これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

コミュニケーションロボット ユメル君 と ばあーちゃんのびっくり会話 5

NPO福祉用具ネット 副理事長 坂田 栄二

シルバーカーの役割

まず前号(76号)でのご紹介内容 2つを振り返ってみよう。

1つ目。ばあーちゃんは散歩するときにシルバーカーからユメル君が転落しないように、座席の小物入れを利用していること。

2つ目。散歩が終わった後に汚れたシルバーカーをそのまま家の中に持ち込む対策として、外用と内用の2台のシルバーカーを利用する「内外(うちそと)連係使用」を紹介した。

残念ながら、内外連係はなかなか難しいことが判りました。どうもシルバーカーが2台あることを念頭に置いていないからのようだ。

そんなある日、庭を散歩した後、玄関の戸の前で立ち止まっていた。“どうしたんだろう?”と見ていると玄関マットの上でシルバーカーを何度も“押し引き”し始めた。

マットの上をゴシゴシ



しかしそれもすぐに止めて、今度はサンダルの底でタイヤを擦り始めた。タイヤを蹴るように何度も擦っている。だが、どうも納得がいかないようだ。

サンダルの底でゴシゴシ



そこで次にとった行動が意外だった。履いているサンダルを脱ぐと、そのサンダルを手で持ってタイヤを擦り始めた。何度も何度も擦っている。この時点で男

サンダルを脱いでゴシゴシ



性は、ようやくばあーちゃんが何をしたいのかを悟った。タイヤに付着した泥を擦って取ろうとしていることが判った。これはいいチャンスだと思った男性はばあーちゃんの元へ急いだ。

泥んこのままでは上がれない

男性は、ばあーちゃんが、タイヤが汚れていること、汚れたままでは、家の中に持って上がれないことに気づいたのでなかろうかと考えた。

「ばあーちゃん、どうした〜?」

「泥がくっついて落ちん・・・。」

「ほんとやね。一杯くっついているね。このままじゃ上に上がれんね。」

「こんだけ落ちれば良いよ。」

泥だらけのタイヤ



と言って、玄関の戸を開けてシルバーカーを押し中に入ってしまった。やはりタイヤが汚れたままでは、持

ちあげられないことを気にしていたのだ。

しかし、玄関の中に入ったものの扉に座り込んだままである。そしてジーンとタイヤを見つめて何やら考え込んでいる。

「どうしたもんかやー…」

“汚れたままでは上にあげられない、しかし上でも使いたい” そんな気持ちが痛いように解かる。男性はこっそりと2台目をもってきて、ばあーちゃんの背後



両立案を 悩み中

に置いた。さも以前からシルバーカーがそこにあっただかのように、気付かれぬようにそっと置いた。

ふっと後ろを振り返ったばあーちゃんは、

「あ～あ、そうたい！」

と言って、何事もなかったかのようにシルバーカーを押して奥へ行ってしまった。本人の頭の中では問題は解決したのだろうか、2台有ることを思い出したのか

内外連携使用が完成！？



男性は判らなかつたが、2台による「内外連携」の使い方を、ばあーちゃんがマスターしたと喜んだ。これで廊下を汚すこともなくなり、ヘルパーさんに迷惑を掛けなくて済むと安心した。

これは？ タイヤの泥跡！

ところが、次の日に行ってみると、廊下に長々とタ

イヤの泥跡が残っているではないか。

皆さんならこの問題をどのように解決しますか？

いつもユメル君とお見送り

「最近お見送りが、玄関からになったんですよ。」

ある日、ヘルパーさんからの情報。

これまでは、男性が出かけるときは勝手口から一緒に出て家の周りを半周し、表に回ってお見送りをしてくれていた。勿論、左腕でユメル君を抱え、一緒に見送りしてくれた。その時は、

「いってらっしゃーい」と言いながら、ユメル君の腕を動かしてバイバイさせるのである。自分でバイバイするのが気恥ずかしいので、ユメル君の腕を借りて手を振っていたのだろう。91歳という年齢を重ねても乙女心は変わらないのかもしれない。

ヘルパーさんが帰るときも毎回、同様だったようだ。膝が痛むので、歩幅は半歩ずつだが、「健康のため」と自分に言い聞かせて歩くようだ。

しかし、ヘルパーさんによると、3か月ほど前から「玄関から出るからね。」

と、玄関に先回りして戸を開け、ヘルパーさんの車が見えなくなるまで、立ったままでユメル君と見送るやり方に変ったとのことだった。



ユメル君と玄関からお見送り

しかし、それも長くは続かなかった。長い間、立つことが辛くなったようで、玄関前の石段に座って見送るようになった。

これを見かねたヘルパーさんが玄関にイスを置いてくれた。イスの位置は、そのイスに座り、玄関の戸を開けるとヘルパーさんの帰る姿が正面に見える。

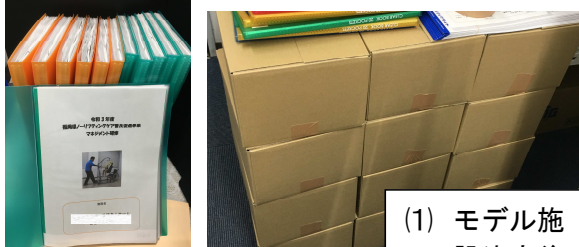
「また、あした来ておくれ～」

1人暮らしで誰も訪れることなく人恋しいばあーちゃんにとって、ヘルパーさんは大切な人である。

(次号の「ヘルパーさんの提案 手すり」につづく)

令和3年 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

新しく仲間入りした2期生の研修が本格的にスタート



(1) モデル施設決定後に研修教材の送付



研修用テキスト5セットと教育用技術動画と関係資料を閉じたファイル1冊

2期生12のモデル施設対象の研修内容は、以下の通り

- ① 5日間のマネジメント研修
- ② 3日間のフォローアップ研修（実技含む）
- ③ 1期生と共に活動する地域連絡協議会3回
- ④ 実践報告会での発表 2月開催予定

事前腰痛調査の結果

対象 今年度からの新規取組施設12施設

介護職員の腰痛者 平均 68%

介護職員の平均年齢 42歳

第1回 マネジメント研修を、7月16日筑後地域と福岡地域と21日筑豊地域と北九州地域に分けて開催。

新規モデル施設2期生と1期生、合計24の施設が参加。

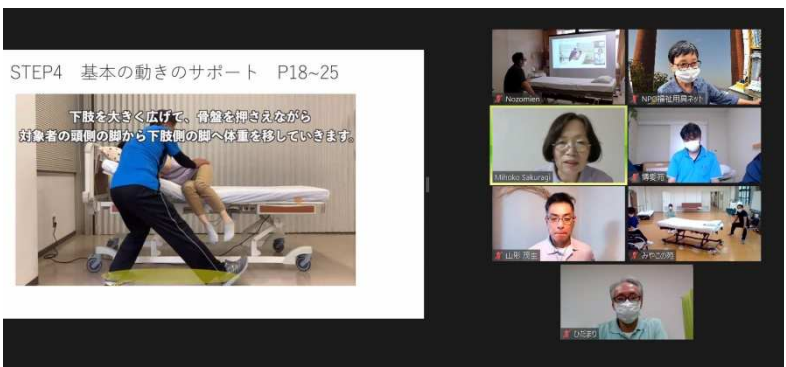


(2) まずは、事前のオンラインテストを1日かけて実施。環境確認とオンライン研修の手順を確認

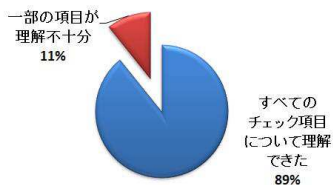
オンラインで伝えた ノーリフティングケアに必要な技術研修

一つひとつの技術を、画面を通して丁寧に指導

今回の実技オンライン研修の総括。
12のモデル施設37名が受講。
その内33名が7つの技術19の
チェック項目のすべてに理解できたと回答。
そして、2施設の4名があまり理解できなかったと回答。
その項目は、ボード3名。
寝返りが2名、シートが1名。



オンライン実技研修の理解度19項目の理解度自己評価



地域への普及を目指す地域連絡協議会は、1期生と2期生の対面



地域の繋がりにから、ノーリフティングケアの普及を目指します。
6月に事前の打ち合わせをして、新たな2期生を迎えました。
第1回目は、地域ごとに1期生と2期生が画面を通して、施設紹介と自己紹介を行い、さらにこれからの活動について決めました。
次回は、10月に、各地域で決めたテーマについて開催予定

1期生を対象に指導者育成プログラムがスタート!

技術研修&マネジメント力強化研修

技術研修 5回シリーズ

6月と7月の2回まで終了
次回は、10月と11月予定

6月24日から対面しての技術研修を開催。
企画の段階から、コロナの状況で流動的な対応を検討しなければならない中、会場と福祉用具の確保が大変でした。そんな中、NPOの会員企業の(株)プラッツ様の協力が得られることになり、ようやく実現の目途がたちました。
改めて、プラッツ様に心より感謝申し上げます。



技術研修に参加した6施設は、これまでノーリフティングに必要な技術を本格的に学んだ人がいない施設でした。オンラインの技術研修やDVDでは伝わらない細かな動きを学び、さらに、その学んだことを職場のスタッフに伝えるという責務を背負っての参加でした。さらに、4つの地域から各地域のベッドに寄り添って指導してくれるベッドタスクの助けも力強い存在でした。各地域にいる技術認定チェック合格者の存在は、これからも大きな役割を担ってくれることでしょう。

マネジメント力強化研修

6月と8月に開催 次回は12月に予定



1年間学んだ1期生が昨年の年末に半年の取り組みの計画を立てて実践してきた報告を聴き、各施設のマネジメントについての理解度チェックを行いました。メンバーが一人ひとりの自己評価を行い、さらに講師2名が他者評価を実施。課題の洗い出しから始めました。

その結果、見えてきた補習課題に沿っての研修を8月に実施。演習で作成した計画書を講師が確認し、メッセージを書き込んで各施設に返却。次の段階は、9月から2期生とともに継続して学ぶマネジメント研修で、さらに理解度を評価し、フォローしていく予定。12月には理解度の確認予定。

NPO福祉用具ネットものづくり支援センターからの紹介

福岡県のベッドメーカー (株)プラッツ様からの新商品紹介 『アスピーノ』

6月新発売

医療・介護施設用電動ベッド

ASPINO
アスピーノ



誤嚥リスク低減をサポートするポイント



商品紹介

2021年6月に発売した医療施設用電動ベッド「アスピーノ」は、誤嚥（ASPIration）をさせない（NO）看護をサポートする、という想いで命名された、**誤嚥リスクを低減する独自の背上げ「ハイバックサポート機能」**を搭載する「**ポジショニングベッドシリーズ**」の新しいベッドになります。

アスピーノに期待できる効果

- 誤嚥リスクの低減、口腔ケアのサポート
- 呼吸管理
- 褥瘡リスクの低減、ズレカ・圧力の軽減
- 背圧の軽減

病院、介護福祉施設様向けに無料で体験やお貸し出しを行っておりますので、ぜひお気軽にご相談ください。お問い合わせは、(株)プラッツ 本社へ ☎ 092-584-3434

事務局だより

◇令和3年6月 前号の追加

情報誌ささえ76号 編集・印刷・発送の準備

モデル施設公募受付とモデル施設確定

6月17日導入研修会動画配信 7月末まで

- 6月15日 開発相談
- 6月17日 オンライン開発会議
- 6月19日 打ち合わせ
- 6月22日 モデル施設確定通知
オリエンテーションファイル準備
- 6月28日 モデル施設に必要書類発送完了
1期生実践報告会DVD郵送
- 6月29日 前年度西日本国際福祉機器展動画を
YouTubeに公開
- 6月30日 開発相談 オンライン

《令和3年7月から9月までの事務局のうごき》

◇令和3年7月

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
新規モデル施設のマネジメント研修スタート
腰痛及び施設の概要追加調査

- 7月1日 Zoomバージョンアップ
- 7月2日 ささえ発送 開発支援
- 7月5日 モデル施設とオンラインテスト
- 7月6日 オンライン開発会議
- 7月7日 オンライン開発会議
- 7月9日 オンライン会議 講師打ち合わせ
- 7月10日 技術認定対策学習会
- 7月14日 オンライン開発相談
- 7月15日 アンケート集計
- 7月16日 オンライン研修第1回目筑後・福岡
- 7月20日 開発相談
- 7月21日 オンライン研修第1回目北九州・筑豊
- 7月24日 事例相談
- 7月26日 1期生技術研修2回目
- 7月27日 講師の確認資料をモデル施設に返却
- 7月28日 福祉用具借用相談
- 7月29日 開発相談 オンライン

◇令和3年8月

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応
技術研修の対面研修をオンラインに変更
さらに、日程変更の調整

- 8月2日 地域連絡協議会 筑豊
- 8月2日 動画配信停止手続き
集合研修の感染対策協議
機器の借用キャンセル手続き
- 8月3日 マネジメント力強化研修
筑豊・北九州
- 8月4日 地域連絡協議会 筑後
- 8月5日 延期日程の調整

技術研修会 2期生4地域と1期生3回
と技術認定チェックの日程の見直し

- 8月6日 マネジメント力強化研修
筑後・福岡
- 8月10日 地域連絡協議会 福岡
- 8月12日 地域連絡協議会 北九州
- 8月16日 実技オンライン研修会 筑豊
- 8月18日 実技オンライン研修会 筑後
- 8月19日 実技オンライン研修会 福岡
- 8月20日 実技オンライン研修会 北九州
- 8月24日 会計処理
- 8月26日 開発相談
- 8月27日 経理確認
- 8月30日 1期生へマネジメント力強化研修計画
書講師確認後返却
- 8月31日 オンライン開発会議

◇令和3年9月

- 9月3日 開発相談
- 9月7日・8日 開発相談
- 9月13日・14日 開発相談
- 9月15日 マネジメント研修 2回目 筑豊
- 9月16日 マネジメント研修 2回目 筑後
- 9月17日 マネジメント研修 2回目 福岡
- 9月22日 マネジメント研修 2回目 北九州
- 9月29日 開発相談

情報誌ささえ77号 編集・印刷・発送の準備

◇令和3年10月の予定

- 10月1日 3回目指導者育成技術研修
- 10月2日 技術認定チェック
- 10月3日 技術認定チェック
- 10月4日 地域連絡協議会 筑豊
- 10月6日 地域連絡協議会 筑後
- 10月7日 地域連絡協議会 福岡
- 10月13日 地域連絡協議会 北九州
- 10月14日 マネジメント研修3回目 筑豊
- 10月18日 マネジメント研修3回目 筑後
- 10月20日 マネジメント研修3回目 福岡
- 10月21日 マネジメント研修3回目 北九州
- 10月25日 4回目指導者育成技術研修

令和4年2月の実践報告会まで福岡県ノーリフティングケア普及促進事業の研修計画に沿って進行予定

